

—「自立支援」てなんだろう—

一般的に「自分でできることはしてもらい、できないことに支援する事」と返事が返ってきます。

<例>

[Aさん]

衣服の着替は、15分位の声掛け・見守りで着替えが出来ます。

着替えが済むと、毎日のように好きな散歩に出掛けました。

[Bさん]

着替えを終えると、ソファーで横になってしまいます。

—介護職の腕の見せどころ—

簡単ではありませんが、全般的機能(心身・意欲・参加)が衰えた高齢者の生活目標・楽しみ、何か一つでも、どの様に引き出し、自分がやりたいこと、生活の充実感に繋がらせることではないでしょうか。悩みどころですね。……子供さんから気合を入れられ、叱られ？

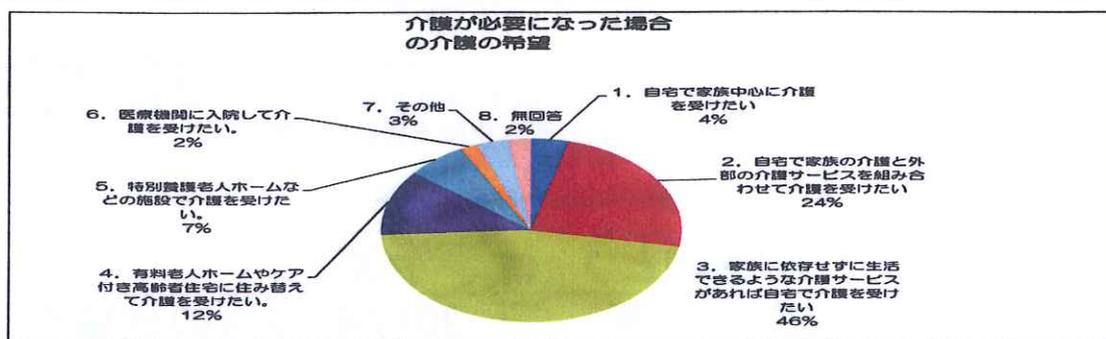
—さあ Bさんにはどのような対応しますか—

代表理事 鎌田憲悦

介護の希望 (本人の希望)

【自分が介護が必要になった場合】

最も多かったのは「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」で46%、2位は「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」で24%、3位は「有料老人ホームやケア付き高齢者住宅に住み替えて介護を受けたい」で12%。



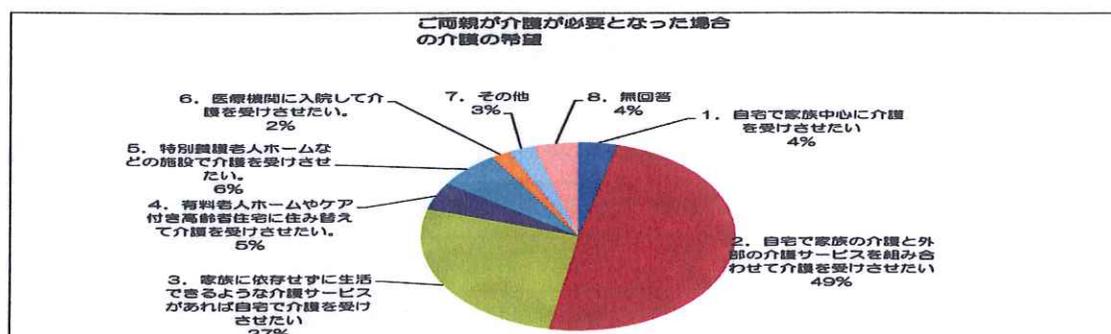
資料出所:「介護保険制度に関する国民の皆さまからのご意見募集(結果概要について)」厚生労働省老健局

5

介護の希望 (家族の希望)

【両親が介護が必要になった場合】

最も多かったのは「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けさせたい」で49%、2位は「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けさせたい」で27%となっており、前記自分の場合と1位と2位が逆転している。



資料出所:「介護保険制度に関する国民の皆さまからのご意見募集(結果概要について)」厚生労働省老健局

6

看護より

起立性低血圧とは

寝ていたり・座ったりしている状態から立ち上がった時に、血液がうまく循環できず、脳への血のめぐりが悪くなる状態をいいます。立ち上がった直後に起こる場合と、立った後10分ほどしてから起こる場合、その中間とがあります。

症 状	立ちくらみ・めまい・倦怠感・頭痛・動悸・失神
起こりやすいタイミング	食後…消化に血液が使われるため 排便後・就寝後…副交感神経がはたらくため 入浴中・入浴後…温度差による血液の流れの変化
予 防	立ち上がって10分程度はゆったりと行動する 下肢の筋力増強 長湯をしない、脱衣場・浴室の温度差を小さくする 食後の入浴は控えゆっくり過ごす

転倒して骨折してしまうことや、入浴中であれば、死亡事故につながることもあります。日頃から起立性低血圧を起こさないように予防をしていきましょう。

ミニ情報

国が目指す福祉は地域包括ケアから地域共生社会

地域共生社会とは

子供・高齢者・障害者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めあうことができる社会。
『他人事』になりがちな地域づくりを地域住民が『我が事』のこととして主体的に取り組んでいただく仕組みを作っていくとともに、市町村においては、地域づくりの取り組みの支援と、公的な福祉サービスへのつなぎを含めた『丸ごと』の総合相談支援の体制整備を進めていく。

サービス付高齢者
賃貸住宅 空室情報

3部屋空室

ふきのとう 行事予定

2017年 1月の地域交流行事

5日:5人会 8日:楽習会 10日:はつらつクラブ
13日:楽習会 19日:楽習会
20日:まちの保健室(体操) 25日:楽習会
27日:まちの保健室(体操) 29日:みちの会

2017年 2月の地域交流行事

2日:学習会 3日:まちの保健室(体操)
10日:まちの保健室(体操)
17日:まちの保健室(体操) 21日:はつらつクラブ
24日:まちの保健室(体操)

* 行事・趣味の会等にご参加をお待ちしております。地域交流ホールは予約でいつもご利用頂けます。

ふきのとう理念

- 1、介護職の「してあげる」意識を改め、「思いやり・笑顔・感謝」で、一人一人の「自立」を引き出す支援を基本とします。
- 2、「24時間365日」「介護・医療連携」「その人が望む生活」を「地域資源の活用」「IT化」を図り、効率・効果的にサービスを提供します。
- 3、「支える・支えられる」互助の精神、地域共生、介護・医療機関、福祉関係者が垣根を低くし、連携と包括的支援体制を目指します。
- 4、ふきのとうは働く者への思いやり、反省と謙虚な気持ちで学び、介護技術・倫理を身に付け、「安心」を与える在宅支援型介護職を目指します。
- 5、老人福祉法、介護保険法、高齢者虐待防止法、個人情報保護法、権利擁護関連法等の遵守を運営基本とします。